



宮城県における雇用の安定と定住推進協定 令和4年度事業計画の概要



宮城県と宮城県教育委員会、宮城労働局が締結した「宮城県における雇用の安定と定住推進協定」に基づき、事業計画を策定し、相互連携の下、県民の雇用の安定と定住を推進します。

- 県と教育委員会及び労働局は、それぞれが取り組む施策を推進するために必要な要請を相互に行うことができ、要請に対しては誠実に対応
- 県と教育委員会及び労働局は、協定の目的を達成するため、具体的な取組、実施方法及び目標等を事業計画として毎年定める

1 キャリア教育・志教育の推進

- 県内の優れた産業や企業・製品等を紹介する広報誌「オガーレ！ACE」やものづくり産業のPR動画等により、高校生・大学生等へ情報を発信
- 地元就職率の向上に向け、地元企業を知るためのインターンシップやものづくり企業見学会（工場見学会）を実施
- 若者の採用育成に積極的に雇用管理状況が優良な県内のユースエール認定企業を高校や大学等に周知し、新卒者等の地元就職を促進

2 雇用維持・労働移動等に向けた支援

- 特別労働相談窓口での労働者及び事業主からの相談対応
- 雇用の安定を図るため「雇用調整助成金」「産業雇用安定助成金」等各種助成金の活用を促進
- 就職に必要な技能・知識習得のための職業訓練の実施、訓練期間中から訓練終了後までのきめ細かな就職支援により、再就職を促進

3 時代と地域が求める人材育成・確保対策の推進

- 「みやぎシゴトサポーター」を設置し、求職者の掘り起こしやセミナー実施等によるマッチング支援を実施
- デジタルトランスフォーメーション（DX）が加速する中、デジタル人材の育成・確保の課題に対応するため、デジタル分野の訓練を推進
- 相談対応やマッチング支援等によるU・I・Jターン就職を促進

4 個々の態様に応じた就職支援

- 新卒者等の県内就職を促進するため、Z世代と呼ばれる若者が持つ多様性を尊重する価値観等に着眼した、県内就職の魅力発信イベント等を実施
- 就職氷河期世代対象者の安定した就労と社会参加の支援を推進するため、職業訓練への誘導・あっせん機能を強化
- 仕事と子育ての両立に関する企業向けセミナーの実施等により、子どもを産み育てやすい社会づくりを促進
- 70歳までの就業機会確保に向けた、環境整備や高齢労働者の処遇改善を行う企業支援の実施
- 障害者雇用の促進・安定に関して優良な企業を認定する「もにす認定」制度の周知を行い、地域の障害者雇いを推進
- 外国人労働者の雇用管理に不安を抱える企業に対し、外国人雇用アドバイザーを活用した相談支援の実施

5 誰もが働きやすい職場づくりの推進

- 宮城働き方改革推進等政労使協議会において各関係機関と「働き方改革」に関する施策を推進
- 「人財活躍推進ネットワーク」を活用し、県内企業にウィズコロナ時代に対応した「新しい働き方」の拡大を促進
- ポジティブ・アクションやワーク・ライフ・バランス等の普及啓発を行い、女性も男性も能力を発揮しやすい職場環境づくりを促進